

言葉だよりNo.8 (第429号)

## 「2学期を振り返って」

吉見

長く思えた2学期も、気がつくともう終わりに近づいています。2学期には、受験や体育祭、文化祭など、たくさんの行事がありました。その中で、何について書こうか迷いましたが、自分の進路と学習面について書くことにしました。

私は、将来言語聴覚士になることを目指しています。どのような仕事かについては、紙面の都合上省略しますので、みなさんで調べてください。はじめは、他にもいろいろな仕事に興味を持っていましたが、どの仕事も調べれば調べるほど自分には無理だと思ってしまい、ずっと決まらないうちにいました。しかし、言語聴覚士だけは、調べれば調べるほど興味が湧いてきたので、この仕事を目指そうと決めました。決めてから受験まではあっという間で、練習時間もあまりありませんでしたが、先生が丁寧に面接の指導をしてくださり、最初は自信がなかった面接も、本番ではしっかり自信を持って臨むことができました。その日の受験者が私1人で面接官の印象に強く残っていたのか、合格することができました。ですが、本番はここからです。私は、言語聴覚士という仕事を選んでおきながら、会話が得意ではありません。人の話を聞くことは得意ですが、自分から話し出すのが苦手です。そのことを、K. I君に見抜かれて、「K君はやっぱり鋭い人だ。」と思った話は、ここでは省略し、いつか同窓会で話します。相手に安心してもらい、楽しんでもらえる会話術をK君と共に研究していきます。みんなも手伝ってくれれば嬉しいです。

専門学校に入学したら、勉強を頑張らなければいけません。国家試験に落ちると親に申し訳ないので、今のうちに勉強の習慣を定着させておきたいです。勉強する上で、私が高校に入って学んだことがあります。それは、困難は分割することです。これは、大きな課題を小分けにして取り組み、一つずつクリアしていくという意味です。私は、1度にまとめた一発勝負の1/1024の確率よりも、1/2を10回実行する方が良いと考えています。先生には言えませんが、この考え方で、さまざまな問題・項目を暗記し、テストに挑んできました。みんなもこの考え方を参考にしてみてください。

最後に、卒業まであと数か月しかありません。三瓶分校最後の卒業生として良い締めくくりが出来るように、みんなが一丸となって頑張っていきましょう。